

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2023/6/19

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	改善日時
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			一人当たり2.47㎡確保。主として子どもたちが過ごすパソコンルーム、サブルーム、相談室、リフレッシュルームと4室あり、それぞれ用途に合わせ使用。サブルームは、小人数や1人を好む子どもに対応。	
	② 職員の配置数は適切であるか	4			送迎や、別室活動などが重なる時一人一人の児童に目がいき届かない時もあるが、配置基準は満たしている。他部署からの送迎の応援などもあるので、人員的な部分では助かっている。職員が休みをとっても、支援の質を下げないようにしたい。	
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		2	2	教室は3階で階段や段差はあるが、手すりがある。必要時には、昇降時は職員が付き添う。玄関にはスロープを設置。重いすでの来客には対応しているが、放課後は重いすでは入れないところが課題。昨年から玄関にスロープを増設している。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		PDCAサイクルは出来ている。スタッフ全員での職員会議により振り返りと確認を行っている。今後も継続してスタッフ間で話し合いを行いスタッフ間の連携を大切に支援の質の向上と業務改善を進めていく。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	2		保護者からの評価表を活用する等によりアンケート調査は実施し、保護者の意向等は把握していると思うが、前年度よりその意向等を業務改善までには繋がられていないところが多々ある。スタッフ間で改善するための優先順位や目標を定め、業務改善に繋げたい。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページに掲載し、事業所内の入り口に書面での掲示をしている。見学や体験に来られた方にもその場で評価表のことを説明して見せてもっている。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	3	第三者評価は行ってない。業務に関しては理事会による評価を得て提案をもらったりと改善につなげている。また、外部機関とも連携を図り相談や情報収集に務めている。今後、来所される外部機関の助力を得ながら第三者評価をどのように行っていかをスタッフ間で検討していく。	
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			熊本市や関係機関主催の外部研修、リタコ研修等に積極的に参加しており、コロナ禍で研修の機会が減る中でオンラインでの動画研修等で研修の機会が以前より増えている。また、スタッフ間での支援の方向性の統一などの話し合いの場を計画的に実施している。	
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			お母さまや児童への聴き取り、アセスメント表の利用により、課題やニーズの把握、検討を行い、個別支援計画に反映し、実際の支援に活かしている。プロジェクトやオンライン機器も使い工夫している。	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		4		事業所で作成したアセスメント表を使用し、ニーズ把握を行っている。見やすさやレイアウトを工夫した1枚の書面で作成しており、スタッフが見たいときにすぐに見られるようにPC機器も活用している。“標準化されたアセスメントツール”が所内で定められていないため、ツールの作成を検討しながら進めていきたい。	
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		定期的に会議を開き、活動プログラムの振り返りや立案を行っている。朝礼や昼礼では毎回スタッフが気づいたことなども発言できる機会を設けている。定期的(月1回)他部署などともミーティングの機会などの話し合いの場を設けている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	2	2		長期休暇時のイベント等では、タイピング大会や認知トレーニング等の室内でできるような企画の立案を計画している。パソコンがメインで反復練習が必要なところがあるので固定化しがたが、ミッションカード等を作成し、子供たちがやったことのないプログラム等のチャレンジの機会も設けている。	
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて課題を決め、細やかに設定して支援しているか	3	1		挨拶励行、日誌記入など、定期的に課題を決め実施している。長期休暇時はパソコンの資格取得を目指す等の支援や夏休み独自のタイムスケジュール等やプログラムを作成している。	
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		パソコンの指導がメイン、それぞれの子どもたちの到達度、母、児童のニーズに合わせて、個別で支援をしている。希望する子には、集団での活動や簡単なゲーム等を挿入している。長期休暇は、朝の会、掃除、体操、集団でのパソコン授業、終わりの会など小集団での活動も取り入れている。	
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1		原則、午前11時にミーティングを行い、支援の内容、利用者の確認、スタッフの不安解消、役割分担等の確認を行っている。スタッフ間で活発に意見が出て、日々の支援の質の向上に務めている。	
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	4			支援終了後は送迎等により職員間で全員で集まる時間がないので、翌日の朝礼や昼礼時に振り返りを行いスタッフ間で情報共有に努めている。現状スタッフ間での価値観や考え方がまだまだまとまっていない部分があり、話し合いが長引く時もあるが、今はお互い話し合うことを重要視し打ち合わせをしている。	
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4			個別支援計画に沿って支援記録の徹底を行っている。また、漏れがないよう見直しを行っている。パソコン機器等では、各スタッフ一人一台ずつパソコンがあり、スタッフがいずれも見たいときに書き込みや記録を見ることができる。保護者に渡す連絡帳も必要性を理解し記録を心がけている。	
	⑱ 定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			日々の子どもの様子を観察し、それぞれの課題や目標に沿った支援や活動が行われているかを判断している。また、子どもたちや保護者の方々のニーズの掘り起こしも行っている。半年後の個別支援計画に聴き取り等の内容を反映している。個別支援計画書の必要性をスタッフ全員が理解できている。	
⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	1		パソコン活動が主なことで地域交流等まったく出ていない活動もある。他の放課後デイと比較すると特殊な活動内容ではあるが、それぞれのニーズに合わせて基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている。		
⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			相談支援事業所や関係機関と連携して、子どもたちの様子やニーズ、保護者の方々のニーズやご意見、ご要望を共有し、子どもたちへ適切な支援を行っている。スタッフの手が空いている時間帯は、他のスタッフも積極的に参加している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	改善日時
関係機関や保護者との連携	⑲ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1		基本的に保護者との連携が中心となっているが送迎時に、担任の先生に、その日の様子の聴き取りを行うなど情報共有を行っている。学校により、連携ができていないところもあるが、依頼があれば快く連携を図ったり、事業所側から学校に連絡をし担任の先生とお話をする場合もある。	
	⑳ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		4		医療的ケア児の受け入れ経験はない。今後、ご利用があれば医師や関係機関との連携を行う。自閉症スペクトラムやADHD等、保護者を介しての連携はある。	
	㉑ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2		現在のとこ、特に保育園等に対して直接聴取が必要な児童はいない。相談支援員等を通して相互理解はある。	
	㉒ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	3		高校や支援学校を卒業し、就労移行支援事業所等に移行する児童の情報を提供し、相談支援事業所、障害福祉事業所と児童のニーズ等を共有し、互いに連携を行った。昨年度は、卒業児童がいたが情報提供のニーズはなかった。	
	㉓ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2		専門機関主催の研修に積極的に参加している。また個別のケースについては助言を求めることもある。	
	㉔ 外部からの教育実習生などの受け入れをして、子供たちと接する機会・交流があるか	4			コロナ禍で交流は控えているが、教育実習生の受け入れは積極的に受け入れる方向としている。実習の受け入れについては、年に1～2回実績がある。実習生が来ることにより、現職員の成長やモチベーションアップにも繋がっている。	
	㉕ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			子ども関係以外の就労に向けての地域会議、研修等は、積極的に参加している。子ども関連の協議会等への参加はコロナ禍で減っていたが、昨年度は子ども部会への参加を行った。	
	㉖ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			連絡帖やLINE、電話、送迎時に子どもの発達の状況や課題等の共通理解を行い、支援につなげている。連絡帳では、保護者からのコメントを多いただけるようになり、事業所側からもコメントを返し、以前より連携の場が増えている。	
保護者への説明責任等	㉗ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	1	ペアレントトレーニングは行っていないが、ニーズがあれば、就労に向けての相談や、A型・B型、移行支援事業所等の見学・体験等を行っている。また、過去には長期休暇でのイベントで親子参加のA型事業所の見学や企業体験等のイベントを開催した。ペアレントトレーニングについてスタッフの専門的な学びを深める機会を設けていきたい。	
	㉘ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			見学時に、事業所説明、契約時に重要事項説明書、利用契約書の保護者との読み合わせや利用者負担額、事業所説明等、(目安90分)一通りの説明を行っている。	
	㉙ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			電話やLINE、連絡帳を通し、相談対応を行っている。相談に対して、経過等を見守り、事業所からも児童の様子や、依頼があれば連絡をすることがある。	
	㉚ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	2	以前は、クリスマス会や親子での企業見学等のイベントを行っていたが、昨年度は行っていない。要望があれば、行う予定だが今のところ要望はない。今回からニーズ調査のアンケートによるニーズ調査を実施し、要望があれば開催の場を設けたい。	
	㉛ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			苦情については、職員会議を開催し、迅速に対応している。保護者への周知も工夫して全体周知や個人周知等を職員間で話し合いを行っている。昨年度は、苦情受付窓口に対する苦情は1件もなかった。	
	㉜ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			昨年度からジュニア・カレッジIPにて長期休みの活動報告を始めている。今後も定期的に活動報告を実施し、情報の発信に努めていきたい。また、パソコンで児童が作成した書面などを印刷して、連絡帳で保護者に見てもらったり、児童の了解をもらい活動の様子を写真や動画に撮り、保護者へみてもらう機会はある。	
	㉝ 個人情報に十分注意しているか	4			個人情報に関しては、事務所から外に出ないように十分に配慮している。関係機関との連携が必要な場合は、必ず保護者の確認をとり、情報共有を行っている。	
	㉞ 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			聴覚より視覚優先の児童に関しては、図示する等の工夫を行っている。保護者に関しては、電話などの音声の情報とともに、メール、連絡帳等でも伝達している。	
	㉟ 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業所運営を図っているか	3	1		地域の縁側事業に登録する等の事業所運営は図っているが実績はない。今後、地域や関係機関への広報誌を発行するなどの取り組みを実施を計画している。	
	㊱ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		2	2	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルはあるが、スタッフ間での見直しや保護者への周知、具体的緊急時の行動レベルまで共有ができていない。優先順位をつけ、上記の部分改善していきたい。	
非常時等の対応	㊲ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4			年に1回、夏休みに説明後、子供たちと実際に避難訓練を行っている(1階給湯室での火災ということで、避難訓練をした。)経験した児童と経験していない児童がいるため、1週間程のプログラムで避難訓練等を行えるように改善したい。非常災害委員会を設置した。R4年4月～	
	㊳ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4			マニュアル、規定あり、定期的に研修を行っている。現状、虐待と疑われるようなケースはない。今後も、所内に設置されている虐待防止委員会を中心に研修等を通してスタッフ一丸となって、虐待防止に努めたい。	
	㊴ どのような場合に、やむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	1		現在まで、そのケースはないが重要事項説明書に明記しており、保護者からの依頼があれば検討し対処していきたい。現状、個別支援計画書には記載していない。	
	㊵ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4			保護者に同意書をいただき、スタッフ間での共有書類等にも落とし込み把握・共有につなげている。	
	㊶ ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	4			日々の昼礼や話し合いなどで、スタッフ間ではヒヤリハットについては話し合っている。R4の夏頃より改善し、定期的に報告と事例集の作成を実施している。	